

令和8年度着手

道 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

(区画整理)

上 土 幌 地 区

北 海 道 十 勝 総 合 振 興 局

土 地 改 良 事 業 計 画 書

第1章 目的	1	3 動力農機具及び主要家畜頭数	6
第2章 地域及び地積	1	4 主要作物作付状況	6
第1節 地域	1	5 農業の動向	7
第2節 地積	1	第6節 地域環境の概況	8
第3章 現況	2 ~ 8	第4章 一般計画	9 ~ 14
第1節 気象及び海象	2	第1節 事業計画の要旨	9
1 一般気象	2	1 要旨	9
2 特殊気象	2	2 事業別面積	9
3 海象	—	第2節 営農計画及び土地利用計画	9 ~ 12
第2節 土地状況	3 ~ 4	1 営農計画の概要	9
1 地形、土壤及び侵食の程度	3 ~ 4	2 土地利用区分	9
2 土地分類	—	3 作付方式	10
3 土地利用の状況	4	4 生産計画	10
4 土地所有の状況	4	5 労働改善計画	11 ~ 12
第3節 水利状況	—	6 級地別土地利用区分	—
1 用水状況	—	7 土地配分計画	—
2 排水状況	—	第3節 用水計画	—
3 河川状況	—	1 計画基準年	—
第4節 道路現況	—	2 計画かんがい方式	—
1 道路概況	—	3 計画用水系統	—
2 主要道路一覧表	—	4 計画用水量	—
第5節 地域農業の概況	5 ~ 7	5 水源計画	—
1 産業別就業人口	5	第4節 排水計画	—
2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況	5	1 計画基準雨量	—
並びに専兼業別農家数	5	2 計画排水方式	—
		3 計画排水系統	—

4	計画排水量	—	2	頭首工	—
5	排水対策	—	3	揚水機	—
6	湛水検討	—	4	用水路	—
第5節	道路計画	—	5	その他かんがい施設	—
1	道路及び索道	—	第2節	排水施設	—
2	路線配置図	—	1	排水水門	—
第6節	農用地造成計画	—	2	排水機	—
1	農用地造成計画	—	3	排水路	—
2	土壤改良	—	4	その他排水施設	—
第7節	洪水調節計画	—	第3節	道路及び索道	—
1	計画基準雨量	—	1	道路	—
2	計画洪水量及び調節量	—	2	索道	—
3	貯水池	—	第4節	農用地造成	—
4	洪水調節検討	—	1	農用地造成工	—
5	管理計画	—	2	土壤改良	—
第8節	干拓計画	—	第5節	洪水調節施設	—
第9節	農用地整備計画	13 ~ 14	1	貯水池	—
1	区画整理	13	2	頭首工及び導水路	—
2	暗渠排水	13	第6節	干拓施設	—
3	客土	—	1	堤防	—
4	除礫	14	2	潮止め	—
5	農地保全	—	3	付属施設	—
6	土壤改良	—	4	埋立	—
第10節	老朽たぬ池改修計画	—	第7節	農用地整備施設	15 ~ 16
1	洪水吐改修計画	—	1	区画整理	15
2	堤体補強計画	—	2	暗渠排水	15
3	取水施設改修計画	—	3	客土	—
第5章	主要工事計画	14 ~ 16	4	除礫	16
第1節	用水施設	—	5	農地保全	—
1	貯水池	—	6	土壤改良	—
第8節	老朽たぬ池改修施設	—			

1	貯水池	—	第 13 章	現況・計画図面	—	19	～	21
2	堤体補強施設	—	1	現況平面図	—			
第 6 章	付帯工事計画	—	2	計画平面図及び土地利用計画図	—	20		
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	17	3	主要構造図	—	21		
第 8 章	環境との調和への配慮	17						
第 9 章	換地計画の概要	—						
第 1 節	換地計画を作成するまでの 基本的な考え方	—						
第 2 節	換地区の設定	—						
1	換地区的名称、所在、面積	—						
2	換地区を設定する理由	—						
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	—						
1	従前の土地の地積の基準	—						
2	用途別予定地積	—						
3	農用地集団化の方針	—						
4	非農用地の換地方方法	—						
第 4 節	土地の評価及び精算の方法	—						
1	評価の方法	—						
2	清算の方法	—						
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	—						
第 6 節	換地処分の時期に関する特則	—						
第 10 章	事業費の総額及び内訳	18						
第 11 章	効用	18						
第 12 章	関連する事業	—						

第1章 目的

上士幌町の農業は、農業従事者の減少や高齢化、農業所得の減少等厳しい状況にある。このような中、我が国の食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって發揮されるためには、競争力ある「攻めの農業」を展開し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整えることが重要である。

このため、大型機械化体系に対応した効率的な草地への整備を推進し、既存草地の整備改良による生産性の向上と効率的な草地への転換を行い、担い手を中心とした土地利用型畜産体系の確立を図るための生産基盤の整備により、農作業の生産性の向上、草地の有効活用に寄与し、飼料自給率の向上や農業所得の確保等を推進し、豊かで競争力ある農業の実現に資する。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
区 画 整 理	北海道 河東郡 上士幌町

第2節 地 積

(令和7年12月22日現在) (第2表)

事 業 名 市町村名	現況地目	田	畠	原 野	山 林	そ の 他	計	備 考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区 画 整 理	上 士 幌 町		351.3		0.4		351.7	
	計		351.3		0.4		351.7	
合	計		351.3		0.4		351.7	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名 観測期間	上士幌	かんがい期		非かんがい期		計 又は平均	備考		
		5月～9月	10月～4月	-1.3	5.4				
平均気温(℃)		14.8		-1.3		5.4	昭和10年～平成20年		
降水量	平均(mm)	582.9		328.0		910.9			
	基準年(mm)	-		-		-			
降雨日数	平均(日)	56.8		58.3		115.7			
	基準年(日)	-		-		-			
根雪期間		12月11日～3月20日							
無霜期間		5月17日～10月9日							
最多風向	南南西	最大風速 (風向)		13.0 m/s		最多風向発生時期 4, 5, 6, 7, 8月			
							最大風速発生年月日 平成20年2月24日		

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 上士幌	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 昭和10年～平成20年																
最大日雨量(mm)	172	H18.8.18	1/63	130	S63.11.24	1/13	129	S56.8.5	1/12	118	H17.9.7	1/8	117	H1.6.29	1/8	
最大時間雨量(mm)	44	H20.7.24	1/44	37	H2.7.18	1/18	36	S55.6.24	1/16	34	H18.8.18	1/12	30	H6.8.13	1/7	
最大4時間雨量(mm)	86	H15.8.9	1/92	66	H18.8.18	1/15	59	H2.7.18	1/8	55	H13.8.23	1/6	55	H6.8.12	1/6	
最大連続雨量(mm)	225	H18.8.16 ～ H18.8.19	1/58	177	S63.11.24 ～ S63.11.27	1/12	175	H20.7.17 ～ H20.7.25	1/12	171	H15.8.7 ～ H15.8.10	1/10	166	H13.9.7 ～ H13.9.12	1/9	
最大連続干天日数(日)	48	H13.10.13 ～ H13.11.29	1/41	44	H8.10.8 ～ H8.11.20	1/25	43	H3.10.19 ～ H3.11.30	1/22	38	S60.7.19 ～ S60.8.25	1/12	38	S55.9.13 ～ S55.10.20	1/12	5mm未満

3 海象 該当なし

第2節 土地状況

1 地形、土壤及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他の								受益地標高(m)		備考				
		傾斜	1/1000		1/100		1/20		計	3°		3°		8°～15°			15°	20°	計	最高	最低	
			以下	～1/100	～1/20	～1/11.5	以上	以下	～8°	8°～10°	10°～15°	8°～15°	～20°	以上								
区画整理	面積(ha)								335.1	16.6							351.7	523	265			
	比率(%)								95.3	4.7							100.0					
合計	面積(ha)								335.1	16.6							351.7	523	265			
	比率(%)								95.3	4.7							100.0					

(第4表-1-2)

土壤統(区)名	土壤統(区)区分一覧表										面積(ha)					備考
	土壤断面										事業名					
	色	腐植層	礫沈殿物	酸化沈殿物	土性		表土	泥炭層及びグライ層			堆積様式	母材	区画整理	計		
					一層	二層		泥	炭	層						
I 磨質褐色低地土 灰色低地土	10YR2/2	富	有	-	SL	SL	HC	無	風積水積	非固結火成岩 非固結水成岩	218.6					218.6
II 細粒褐色低地土 細粒褐色森林土	10YR2/2	頗富	有	-	SL	L	LiC	無	風積水積	非固結火成岩 非固結水成岩	81.5					81.5
III 表層腐植質黒ボク土	10YR3/3	富	有	-	SL	SL	LiC	無	風積	非固結火成岩	51.6					51.6
計											351.7					351.7

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壤の流失率				年平均流失速度				ガリ侵食の程度		備考
		0	0 ~ 25 %	25 ~ 50 %	50 % 以上	0	3 mm 未満	3 ~ 5 mm	5 mm 以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2 土地分類 該当なし

3 土地利用の状況

(令和7年12月22日現在) (第4表-3)

事業名	市町村名	土地利用別		耕 地				山 林		採草放牧地	原 野	そ の 他	計	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区画整理	上士幌町		351.3					0.4					351.7	
	計		351.3					0.4					351.7	
	合 計		351.3					0.4					351.7	

4 土地所有の状況

(令和7年12月22日現在) (第4表-4)

事業名	区分	所有別		個 人 有		市 町 村 有		国 有				計	備 考
		面積 (ha)	受 益 者 数 (人)	筆 数 (筆)	権 利 関 係	備 考 (関係戸数)							
区画整理	面積 (ha)	351.7									351.7		
	受 益 者 数 (人)	17									17		
	筆 数 (筆)	120									120		
	権 利 関 係	所有権・賃貸借・使用貸借											
	備 考 (関係戸数)	36									36		
合 計	面積 (ha)	351.7									351.7		
	受 益 者 数 (人)	17									17		
	筆 数 (筆)	120									120		
	権 利 関 係	所有権・賃貸借・使用貸借											
	備 考 (関係戸数)	36									36		

第3節 水利状況 … 該当なし

第4節 道路概況 … 該当なし

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	第1次産業			第2次産業			第3次産業								備考 R2 国勢 調査
		農業・林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売 小売業 飲食店 (人)	金融 保険業 (人)	不動産 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)		
上士幌町	2,540	858	-	7	170	114	33	84	225	15	3	492	170	369		
計	2,540	858		7	170	114	33	84	225	15	3	492	170	369		
比率 (%)	100.0	33.8		0.3	6.7	4.5	1.3	3.3	8.9	0.6	0.1	19.4	6.7	14.5		

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市 町 村 名	農 家 総 戸 数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専兼業別農家数(戸)			備 考 2020 農林業 センサス		
		例外のを受けるも	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0ha以上	自給的農家	田	畠	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり団地数	団地当たり面積(ha)	専業	兼業	第1種	第2種	
上士幌町	141	7	-	2	-	-	1	1	5	6	137	4	0.3	65.9		66.2		66.2	-	-	-	-	-	-	
計	141	7		2			1	1	5	6	137	4	0.3	65.9		66.2		66.2							
比率 (%)	100.0	5.0		1.4			0.7	0.7	3.5	4.3	97.2	2.8	0.4	99.6		100.0		100.0							

注：農家総戸数には、農家以外の農業事業体及び農業サービス事業体を含む。

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(令和7年12月22日現在) (第7表-3)

項目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考	
	ト ラ ク タ ー		コン バイ ン		ヒ ー ト ハ ー ヘ ス タ ー		ホ テ ロ ハ ー ヘ ス タ ー		乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採 卵 鶏			
	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)		
上 士 幌 町	—	—	—	—	—	—	—	—	23,685	63	21,882	33	—	1	—	—	2020農林業センサス	
	—	—	—	—	—	—	—	—										
計	—	—	—	—	—	—	—	—	23,685	63	21,882	33	—	1	—	—		
100戸当たり数量 (台、頭)	—	—	—	—	—	—	—	—	37,595	66,309	—	—	—	—	—	—		
利 用 戸 数 割 合 (%)	—	—	—	—	—	—	—	—	44.7	23.4	0.7	—	—	—	—	—		

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名	上 士 幌 町								計	平 均	作 付 率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)	10,515								10,515	10,515		
総 本 地 面 積 (ha)	10,515								10,515	10,515	十勝総合振興局調べ	
作物名	区分	作 付 面 積 (ha)	单 位 面 積 当 たり 収 量 (kg/10a)	作 付 面 積 (ha)	单 位 面 積 当 たり 収 量 (kg/10a)	作 付 面 積 (ha)	单 位 面 積 当 たり 収 量 (kg/10a)	作 付 面 積 (ha)	单 位 面 積 当 たり 収 量 (kg/10a)	作 付 面 積 (ha)	单 位 面 積 当 たり 収 量 (kg/10a)	
畑	牧 草	3,290	4,610							3,290	4,610	31.3
	青刈りとうもろこし	2,519	7,360							2,519	7,360	24.0
	そ の 他	4,706	—							4,706	—	44.8
計		10,515								10,515		
市 町 村 別 延 べ 作 付 率 (%)		100.0								100.0		

5 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100 とする指数)	総農家数	98	88	耕地	130	131	小麦	93	92	乳用牛	143	210.3	トラクター	-	-	農振 過疎 山村 特定	A：令和2年 2020農林業センサス B：平成27年 2015世界農林業センサス C：平成22年 2010農林業センサス
	専業農家数	95	76	田	-	-	大豆	116	138	肉用牛	-	917.5	コンバイン	-	-		
	第1種 兼業農家数	10	10	畑	130	131	小豆	126	117	豚	-	-					
	第2種 兼業農家数	33	200	樹園地	-	-											
	農業 従事者数	80	69	草地	-	-											
変化の理由	高齢化、担い手不足等による減			-			-			-			-				

第6節 地域環境の概況

1 地域の概要

本地域は、北海道十勝総合振興局管内の北部、大雪山国立公園の東山麓にあって、東経143度18分、北緯43度14分に位置している。東は本別町・足寄町、西は鹿追町・新得町、南は土幌町、北は上川管内上川町、オホーツク総合振興局管内の北見市、置戸町の8市町に隣接する内陸地帯であり、総面積699km²の町域を有している。

2 自然環境

(1) 気象

気候は内陸性で昼夜・夏冬の寒暖差が激しく、降水量は比較的少ないが、北に位置する山間部では、平野部に比べ年間降水量は5割ほど多く、積雪は2mを越えるところもある。日照時間は、冬期間に晴天に日が続くため比較的長く、また夏期の日照時間も長く、冷涼な気温のもとでも農作物の生育にとっては好条件となっている。

(2) 植生

平坦地は音更川沿いに開けており、ハンノキやヤチダモ、ヤナギ類を主とする湿性林が発達している。火山灰土からなる段丘上にはミズナラやカシワ、カバノキ類などの広葉樹林が広がっている。市街地や農耕地が広がっているため、スズランやオオウバユリ、ギョウジヤニンニクなどの山野草や人里植物、セイヨウタンポポやエゾノギシギシ、オオバコなどの雑草類、農作物やイネ科・マメ科の牧草類といった、身近な植物が数多く見られる。

(3) 動物

森林面積が広い地域であることから、これまで多くの哺乳類が確認されている。エゾヒグマやエゾシカ、エゾユキウサギなどの中・大型哺乳類、エゾリスなどの小型哺乳類が生息している。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

上士幌町の酪農は、農業従事者の高齢化と後継者不足が深刻なうえに、山麓地域特有の傾斜、それに伴う窪地での排水不良と地域の多くに分布する石礫が、粗飼料生産基盤としての草地の生産性向上を阻害している。

また、酪農業は現在、飼料価格の高騰や電気料金の上昇といった要因から、酪農家の経営を圧迫しており持続可能な運営が難しくなってきており、このような情勢に対応するためには、安全な生乳を低成本で安定的に生産する体制の確立が急務で、飼料生産基盤の整備を推進する必要がある。

そのため、本事業で草地整備改良を行うことにより、飼料生産基盤の整備、農作業の生産性の向上、草地の有効活用に寄与し、飼料自給率の向上や農業所得確保が図られる。

2 事業別面積

(第8表)

事業名	区画整理																		計	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	…	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	…	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	…	小計 (ha)		
土地利用区分	田地 (ha)	田地 (ha)	田地 (ha)	田地 (ha)	…	小計 (ha)	田地 (ha)	田地 (ha)	田地 (ha)	田地 (ha)	…	小計 (ha)	田地 (ha)	田地 (ha)	田地 (ha)	田地 (ha)	…	小計 (ha)	計	備考
事業目的																				
区画整理		351.7				351.7													351.7	
暗渠排水		132.1				132.1													132.1	
除 磯		3.0				3.0													3.0	
計		351.7				351.7													351.7	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

営農類型：酪農（個人）、酪農（法人）

機械利用：大型機械の一部共同利用

作付作物：牧草、青刈りとうもろこし

2 土地利用区分

(第9表-1)

事 業 名	土地利 用区分	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考		
		現 況	351.3					351.3	0.4	351.7		351.7			
区 画 整 理	現 況		351.7					351.7				351.7			
	計 画		351.7					351.7				351.7			
計	現 況		351.3					351.3		0.4		351.7			
	計 画		351.7					351.7				351.7			

3 作付方式

(第9表-2)

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収穫量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加	
区画整理	畑	牧草	277.4	282.9	5.5	80.4	80.4	2,093	3,520	1,427	5,806.0	9,958.4	4,152.4	193.6	3,958.8	
		青刈りとうもろこし	67.8	68.8	1.0	19.6	19.6	4,365	5,780	1,415	2,959.5	3,976.8	1,017.3	57.8	959.5	
		小計	345.2	351.7	6.5	100.0	100.0				8,765.5	13,935.2	5,169.7	251.4	4,918.3	
	計		345.2	351.7	6.5						8,765.5	13,935.2	5,169.7	251.4	4,918.3	
合計			345.2	351.7	6.5						8,765.5	13,935.2	5,169.7	251.4	4,918.3	

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
区 画 整 理	畑	牧草(更新)	1.3	人 力	2.18	1.71	△ 0.47	区画整理(7~5° →3° ・起伏修正II)
				機械力	2.18	1.71	△ 0.47	
		牧草(更新)	30.6	人 力	2.05	1.71	△ 0.34	区画整理(起伏修正I)
				機械力	2.05	1.71	△ 0.34	
		牧草(更新)	9.4	人 力	2.18	1.71	△ 0.47	排水改良
				機械力	2.18	1.71	△ 0.47	
		牧草(更新)	0.1	人 力	7.29	1.71	△ 5.58	除礫
				機械力	2.29	1.71	△ 0.58	
		牧草(乾草)	1.4	人 力	2.18	1.73	△ 0.45	区画整理(7~5° →3° ・起伏修正II)
				機械力	2.18	1.73	△ 0.45	
		牧草(乾草)	34.5	人 力	2.03	1.73	△ 0.30	区画整理(起伏修正I)
				機械力	2.03	1.73	△ 0.30	
		牧草(乾草)	10.5	人 力	2.12	1.73	△ 0.39	排水改良
				機械力	2.12	1.73	△ 0.39	
		牧草(乾草)	0.1	人 力	7.25	1.73	△ 5.52	除礫
				機械力	2.25	1.73	△ 0.52	
		牧草(サイレー ジ)	5.4	人 力	1.98	1.57	△ 0.41	区画整理(7~5° →3° ・起伏修正II)
				機械力	1.98	1.57	△ 0.41	
		牧草(サイレー ジ)	126.5	人 力	1.83	1.57	△ 0.26	区画整理(起伏修正I)
				機械力	1.83	1.57	△ 0.26	
		牧草(サイレー ジ)	38.5	人 力	1.91	1.57	△ 0.34	排水改良
				機械力	1.91	1.57	△ 0.34	
		牧草(サイレー ジ)	0.3	人 力	6.91	1.57	△ 5.34	除礫
				機械力	1.91	1.57	△ 0.34	
		牧草(放牧)	1.0	人 力	1.23	1.08	△ 0.15	区画整理(7~5° →3° ・起伏修正II)
				機械力	1.23	1.08	△ 0.15	
		牧草(放牧)	22.5	人 力				区画整理(起伏修正I)
				機械力				
		牧草(放牧)	6.8	人 力				排水改良
				機械力				
		牧草(放牧)	0.1	人 力	6.12	1.08	△ 5.04	除礫
				機械力	1.12	1.08	△ 0.04	
小計			289.0					

区 画 整 理	畑	青刈りとうもろ こ し	7.5	人 力			区画整理(4~3° →3° ・起伏修正Ⅱ)	
		機 械 力						
		青刈りとうもろ こ し	114.5	人 力	1.40	1.23	△ 0.17	区画整理(塹地修正)
		機 械 力		1.40	1.23	△ 0.17		
		青刈りとうもろ こ し	2.4	人 力	6.68	1.23	△ 5.45	除礫
		機 械 力		1.68	1.23	△ 0.45		
小計		124.4						
合 計		413.4						

6 級地別土地利用区分 該当なし

7 土地配分計画 該当なし

第3節 用水計画 該当なし

第4節 排水計画 該当なし

第5節 道路計画 該当なし

第6節 農用地造成計画 該当なし

第7節 洪水調節計画 該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

第9節 農用地整備計画

1 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
270 × 180	486	351.7	100.0	—	
計		351.7	100.0		

(2) 表土扱い

(第16表-1-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m³)	備考
9.1	下層土不良（無肥沃な土壤）	15	13,650	牧草地
4.0	下層土不良（無肥沃な土壤）	25	10,000	飼料畑

(2) 末端道水路配置図 該当なし

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-2-1)

区分	面積(ha)		土壤統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備考						
	事業名													
	区画整理	計												
牧草畑	49.6	49.6	I	30	3.472	0.6以下	自然排水	標準型・保全管理型						
牧草畑	8.4	8.4	II	30	3.472	0.6以下	自然排水	標準型						
牧草畑	10.7	10.7	III	30	3.472	0.6以下	自然排水	標準型						
普通畑	51.0	51.0	I	30	3.472	0.6以下	自然排水	標準型・保全管理型						
普通畑	12.4	12.4	III	30	3.472	0.6以下	自然排水	保全管理型						
計	132.1	132.1												

(2) 心土破碎 該当なし

3 客 土 該当なし

4 除 磯

(第16表-4)

区分 △	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	除 磯 対 象 深 (c m)	計 画 深 (c m)	礫 含 量 作 土 深 (%)		備 考			
	事 業 名						現 況	計 画				
	区 画 整 理	除 磯	計									
牧草畠	0.6		0.6	I	21.7	15	6.6	1.0				
普通畠	1.6		1.6	I	32.5	25	7.4	1.0				
普通畠	0.8		0.8	II	33.2	25	9.8	1.0				
計	3.0		3.0									

5 農地保全 該当なし

6 土壤改良 該当なし

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設 該当なし

第2節 排水施設 該当なし

第3節 道路及び索道 該当なし

第4節 農用地造成 該当なし

第5節 洪水調節施設 該当なし

第6節 干拓計画 該当なし

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m ³)	面積(ha)	土量(m ³)	
上士幌	351.7	270 × 180		13.1	23,650	併せ行う工種 暗渠排水 A=132.1ha 除草 A=3.0ha
計	351.7			13.1	23,650	

(2) 末端用水路等 該当なし

(3) 末端排水路等 該当なし

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-2-1)

区分	面積(ha)			集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考
	事業名															
	区画整理		計	勾配	管種	管径(mm)	延長(m/ha)	勾配	管種	管径(mm)	深さ(m)	間隔(m)	延長(m/ha)	名称	構造	数量(m/ha)
牧草畑	49.6		49.6	1/100～1/600	合成樹脂管	φ 60～150	100	1/100～1/600	合成樹脂管	φ 60～φ 80	0.6～	10	900	既設排水路		
牧草畑	8.4		8.4	1/100～1/600	合成樹脂管	φ 60～150	100	1/100～1/600	合成樹脂管	φ 60～φ 80	0.6～	10	900	既設排水路		
牧草畑	10.7		10.7	1/100～1/600	合成樹脂管	φ 60～150	100	1/100～1/600	合成樹脂管	φ 60～φ 80	0.6～	10	900	既設排水路		
普通畑	51.0		51.0	1/100～1/600	合成樹脂管	φ 60～150	100	1/100～1/600	合成樹脂管	φ 60～φ 80	0.8～	10	900	既設排水路		
普通畑	12.4		12.4	1/100～1/600	合成樹脂管	φ 60～150	100	1/100～1/600	合成樹脂管	φ 60～φ 80	0.8～	10	900	既設排水路		
計	132.1		132.1													

(2) 心土破碎 該当なし

3 客 土 該当なし

4 除 磯

(第23表-4)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除磧量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)			工 法	備 考		
			事 業 名						
			区画整理		計				
牧草畑	21.7	0.017	0.6		0.6	排除集積(ストーンローダ)			
普通畑	32.5	0.029	1.6		1.6	排除集積(ストーンローダ)			
普通畑	33.2	0.022	0.8		0.8	排除集積(ストーンローダ)			
計			3.0		3.0				

5 農地保全 該当なし

6 土壤改良 該当なし

第8節 老朽ため池改修施設 該当なし

第6章 付帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和8年4月
完了予定 令和13年3月（令和12年度）

第8章 環境との調和への配慮

1. 田園環境整備マスタープランにおける環境保全の考え方

「自然環境の保護・保全、改善による農村環境の創造」「豊かな自然と資源を活用した農業農村の活性化」「豊かな自然環境の中でゆとりと安らぎのある生活の実現」「農業を核とした活気と活力のある地場産業の振興」を環境保全の基本方針とし、「人が輝き まちが輝く 緑豊かな北の元気なまちの創造」を環境保全目標としている。

2. 田園環境整備マスタープランにおける本地区の位置づけ

本地区は、上土幌町農村環境計画において環境配慮区域と一部環境創造区域に位置づけられている。

3. 事業計画の策定に当たって配慮した事項

- 施工時は低騒音、排出ガス対策型の建設機械の使用により自然環境への影響を少なくする。
- 施工時には周辺河川への土砂や汚濁水の流出を防止し自然環境に配慮した施工を行う。特に降雨時の施工を極力避ける。
- 樹木を伐採する場合は鳥類の繁殖時期を避ける。

第9章 換地計画の概要 該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名 内訳	全体事業費 (千円)	区画整理 (千円)					備 考
主要工事費	890,000	890,000					令和7年度単価
附帯工事費							
合 計	890,000	890,000					
(関連参考)事業費	国 営						
	道 営						
	団 体 営						
	非 補 助						
	計						

第11章 効用

(第27表)

事業名 区分	項目	年総効果(便益)額 (千円)	現況年総農業所得額 (千円)	年総增加農業所得額		備 考
				(千円)	うち機能向上分	
区画整理	食料の安定供給に関する効果	74,261		112,662	112,662	畜産物等生産効果、営農経費節減効果
	農業の持続的発展に関する効果					
	農村の振興に関する効果					
	多面的機能の発展に関する効果					
	そ の 他	27,273				国産農産物安定供給効果
	計	101,534		112,662	112,662	
全体	食料の安定供給に関する効果	74,261		112,662	112,662	畜産物等生産効果、営農経費節減効果
	農業の持続的発展に関する効果					
	農村の振興に関する効果					
	多面的機能の発展に関する効果					
	そ の 他	27,273				国産農産物安定供給効果
	計	101,534		112,662	112,662	

〈参考〉

総便益額(現在価値化) : 1,792,037 千円

総費用(現在価値化) : 868,540 千円

総費用総便益比 : 2.06

総所得償還率 : - %

増加所得償還率 : 15.5 %

第12章 関連する事業 該当なし

第13章 現況計画平面図

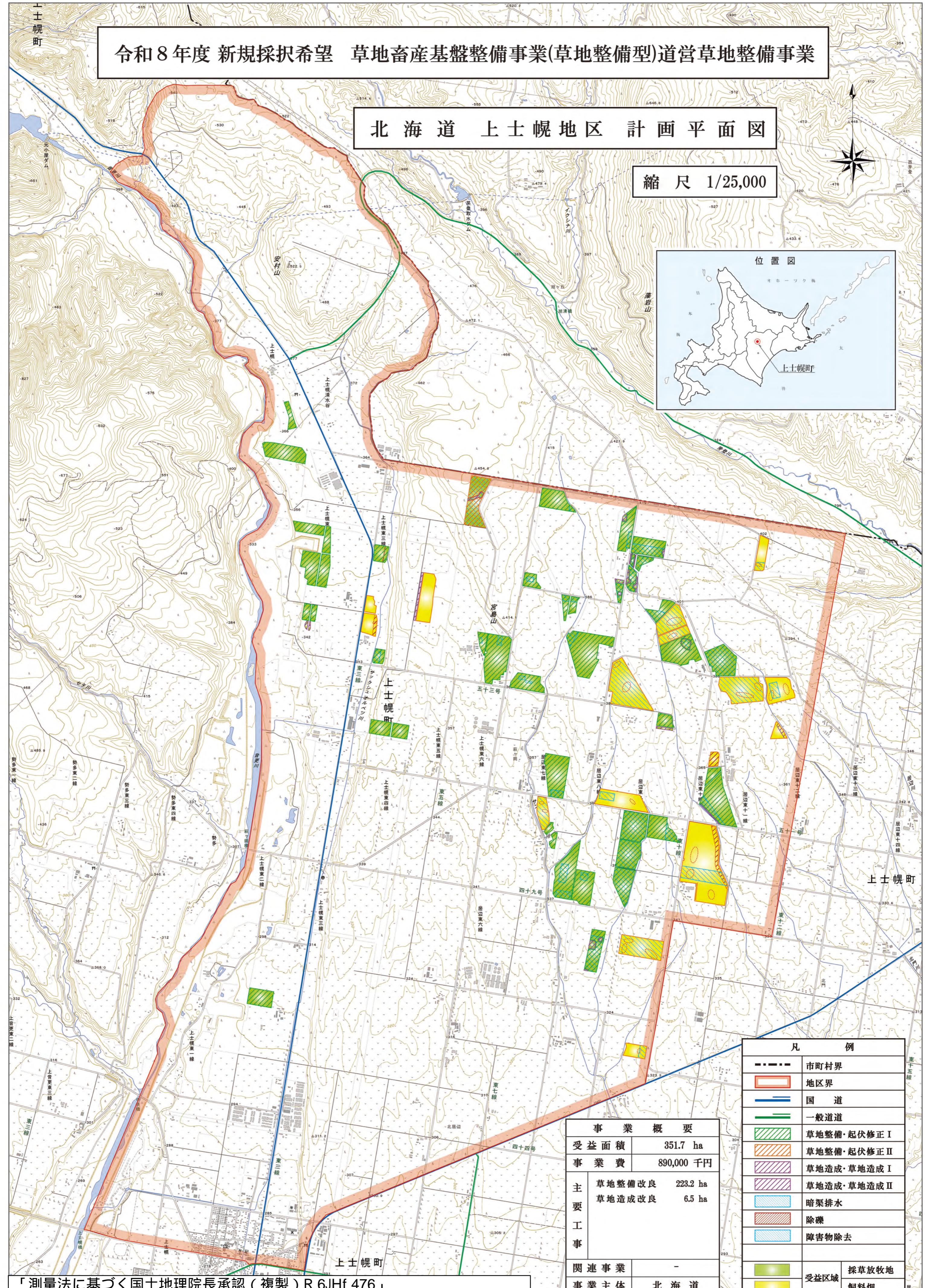
- 1 現況平面図 該当なし
- 2 計画平面図及び土地利用計画図 別添
- 3 主要構造図 別添

令和8年度 新規採択希望 草地畜産基盤整備事業(草地整備型)道営草地整備事業

北海道 上士幌地区 計画平面図

縮尺 1/25,000

位置図



「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 6JHf 476」

「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

暗渠排水 主要構造図

